

# 早稲田西洋史シンポジウム Part2

## 「主権再考：アジアとヨーロッパ」

**日時** 2019年7月20日(土) 14:30～17:30

**会場** 戸山キャンパス 33号館3階331教室

**講演者** ヴァシリオス・シロス(ユヴァスキュラ大学 准教授)

古谷 大輔(大阪大学 准教授)

岡本 隆司(京都府立大学 教授)

**コメンテーター** 皆川 卓(山梨大学 教授)

**通訳** 飯山 知保(早稲田大学 教授) \*岡本氏討論

**使用言語** 英語

近年のヨーロッパの近世史研究では、近世国家の多様性を詳らかにすることによって、従来の主権国家論の相対化が図られている。本シンポジウムでは、検討の対象を空間的にも時間的にも拡張し、19世紀アジアにおける主権概念の拡大と変容にかかわる問題を視野に入れる。目下相対化されつつある近世ヨーロッパの主権概念と近代アジアに拡大された主権概念とを対比することによって、主権を改めて捉え直したい。

### § プログラム §

- |             |   |
|-------------|---|
| 14:30～14:40 | 開会挨拶(中澤達哉)  |
| 14:40～15:10 | 講演「中世ヨーロッパ政治思想と近代デモクラシーにおける主権」<br>(ヴァシリオス・シロス)    |
| 15:10～15:40 | 講演「鏡としての日本：日本におけるスウェーデン人の経験に投影された『主権』のイメージ」(古谷大輔) |
| 15:40～16:10 | 講演「近代東アジアの『主権』の再検討：藩属と中国」(岡本隆司)                   |
| 16:10～16:20 | 休憩  |
| 16:20～16:40 | コメント(皆川卓)   |
| 16:40～17:30 | 討論 *岡本氏討論通訳：飯山知保                                  |

\*共催：科学研究費基盤研究(B)「中近世キリスト教世界における宗教と暴力対立と和解のポリティクス」(研究代表：甚野尚志)、科学研究費基盤研究(B)「中近世ヨーロッパにおける「正しい認識力」観念の変遷」(研究代表：皆川卓)、科学研究費基盤研究(A)「歴史的ヨーロッパにおける主権概念の批判的再構築」(研究代表：古谷大輔)

主催・問合せ



WIAS 早稲田大学 高等研究所

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。